

令和5年度 重点モデル区域候補地 【海津市】

1 設定区域

海津市海津町中江川流域



2 重点モデル区域の概要

- 一級河川揖斐川に通ずる中江川の下流域は、ある程度堤防の幅があり、地域住民の散歩（ウォーキング、サイクリング）他、釣り人達の憩いの場となっています。
- 風光明媚でのどかな田園地帯であり、四季折々の自然を楽しむことができる。特に、春季は桜を目当てとする花見客が多数訪れます。

3 目標

- 市民や観光客がルールやマナーを守って散乱ごみの抑制が実現され、地域住民の憩いの場が保全・維持されています。

4 取組の方向性

- 区域内では、ペットボトルや煙草の吸い殻、ビニール類、家庭用品など幅広く捨てられることがあり、水路に流出するものもあります。
- 現地確認及び回収作業（通年）を基本としながら、一般市民による「環境パトロール員」や「環境パトロールボランティア」のほか、「海津市環境情報 110 番」フォームによる不法投棄等の通報を受けて現地対応及び処理を実施しています。
- 市内全域で、市民による一斉美化運動（市主催・6 月と 10 月）を実施しており、そのうち 1 回（毎年 10 月）は、建設部門を中心に「伊勢湾森・川・海のクリーンアップ大作戦」に協力しているほか、年 1 回、「アングラー河川清掃」を開催しています。
- 他方で、市の人口減少により清掃活動に参加できる市民の減少及び高齢化が顕著になっている中、最近では、他地域からの投棄（単体、指定ゴミ袋ごと）が発生しており、対応に苦慮している。市の環境担当課の要員不足も相まって対応に支障が出ている。
- これまで通り、巡回やゴミ拾いの継続を地道に続け、散乱ごみ対策を講ずると共に、地域住民に対する啓発はもとより、特に観光客、釣り人などに対する海洋ごみ発生抑制に係る啓発を推進します。

5 事業推進体制

- 以下の関係機関を構成員とする既存の「海津市環境審議会」を活用し、海洋ごみ発生抑制対策を推進します。
 - ・ 地域住民、
 - ・ 有識者
 - ・ 関係業者
 - ・ 県西濃県事務所環境課長
 - ・ 各種団体